

2020年4月14日

チリの水道会社 Aguas Nuevas S.A. (アグアス・ヌエバス) の株式譲渡について

株式会社 INCJ（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：勝又幹英、以下「INCJ」）は、同社が保有し、チリの水道会社 Aguas Nuevas S.A.に出資するコンソーシアムの構成会社であるアイ・エヌ・シー・ジェイ水1号株式会社及びアイ・エヌ・シー・ジェイ水2号株式会社の全株式を、丸紅株式会社とみずほリース株式会社が折半出資するエムジーリース株式会社に譲渡することを決定し、譲渡が完了しましたのでお知らせします。

Aguas Nuevas S.A.について

設立 : 2004年
所在地 : チリ・サンティアゴ首都州
CEO : Salvador Villarino Krumm（サルヴァドル・ヴィラリーノ・クルム）
株主構成 : INCJ（50%）、丸紅（50%）
事業内容 : チリにおける上下水道コンセッション事業運営、鉱山事業向け上水供給、エンジニアリング、オペレーション&メンテナンスサービス

エムジーリース株式会社について

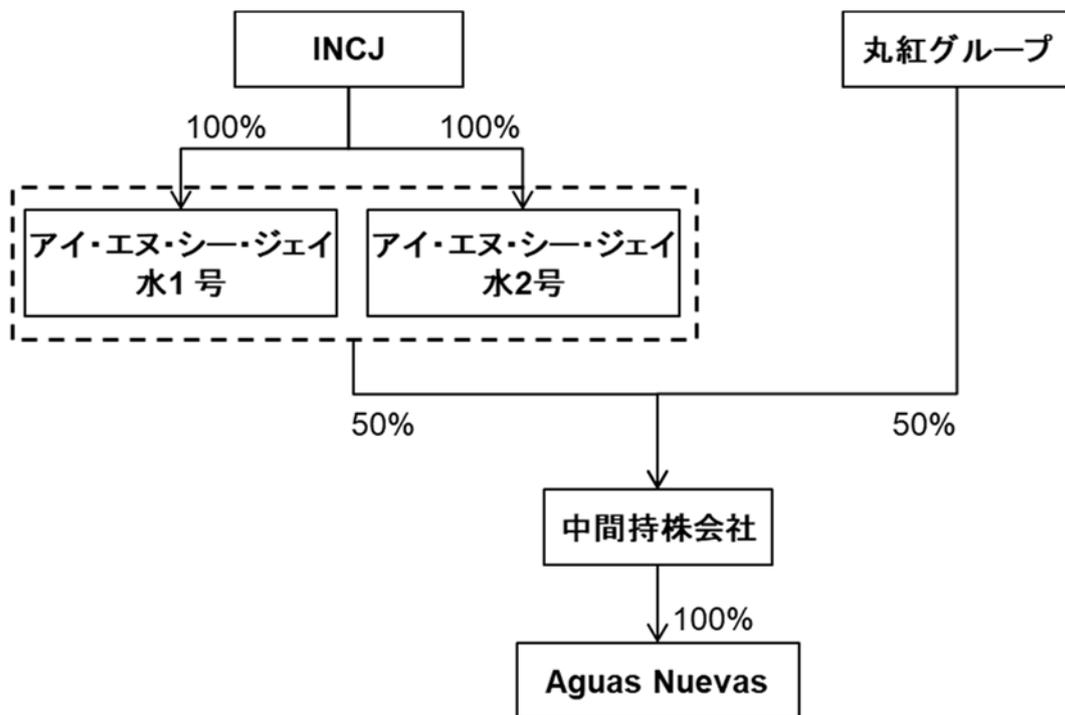
設立 : 1993年12月
所在地 : 東京都千代田区
代表者 : 代表取締役社長 秋吉 満
株主構成 : 丸紅（50%）、みずほリース（50%）
事業内容 : 総合リース業、並びにその関連事業

株式会社 INCJ について

株式会社 INCJ は、2018年9月、既存の官民ファンドである株式会社産業革新機構から新設分割する形で発足しました。産業革新機構は、2009年7月、産業や組織の壁を越えて、オープンイノベーションにより次世代の国富を担う産業を育成・創出することを目的に設立されましたが、根拠法である産業競争力強化法の改正法の施行に伴い、同機構は株式会社産業革新投資機構に商号変更し、新たな活動を開始しました。株式会社 INCJ は、産業革新機構の事業を引き継ぐ形で、既投資先の Value up 活動や追加投資、マイルストーン投資、EXIT に向けた活動を主要業務として、2025年3月末まで投資活動を行っていきます。

URL : <http://www.incj.co.jp/>

<株主構成（2020年3月31日時点）>



【別紙】

1. 対象会社

- ・事業者名 : Aguas Nuevas S.A.
- ・設立 : 2004 年
- ・所在地 : チリ・サンティアゴ首都州
- ・代表者 : Salvador Villarino Krumm (サルヴァドル・ヴィラリーノ・クルム)
- ・事業内容 : チリにおける上下水道コンセッション事業運営、鉱山事業向け上水供給、エンジニアリング、オペレーション&メンテナンスサービス

2. 支援決定内容

- ・支援決定金額 : 非公表
- ・実投資額 : 非公表
- ・共同投資家 : 丸紅株式会社
- ・支援決定公表日 : 2010 年 11 月
 - プレスリリース : 丸紅・INCJ が協働するコンソーシアムが、チリ水事業会社を買収
<https://www.incj.co.jp/newsroom/2010/20101101-2.html>
 - 投資ストラクチャー : <https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1417414603.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

- ・上下水道の事業運営など水事業はグローバルな成長事業として位置づけられているものの、欧州系「水メジャー」等の海外勢が世界展開で先行しており、市場を寡占している状況であった。
- ・かかる状況下、水事業先進国であるチリで、既に水事業会社の Aguas Decima を買収した実績がある丸紅から、産業革新機構（当時）に、同国第 3 位の水事業会社、Aguas Nuevas の共同買収についての提案があった。
- ・グローバル水市場への日本企業の参入を支援することは、水事業の民営化ノウハウの獲得や日本の EPC 事業者*の参画による民間企業の協働が期待できることから、産業革新機構は、共同買収を決定し、2010 年 11 月に公表した。

*EPC 事業者 : エンジニアリングの設計 (Engineering) ・資機材の調達 (Procurement) ・建設工事 (Construction) を含む一連の工程を請け負う事業会社。

(2) 事業の進捗

- ・丸紅主導で事業を拡大し、収益性の高いオペレーションモデルを形成、同社は準水メジャーの一角として認知されるに至る。
- ・水先進国であるチリの民営化ノウハウを取得した丸紅は、それらを活かしてポルトガル、ブラジル、フィリピンにおいて投資を拡大、同時に、日系コンソーシアムが保有する水関連企業との協業も実施。

- ・ 2018 年には、チリ国内で水事業会社の Aguas Chanar を現地インフラファンドと共同買収するなど、順調に事業を拡大。

(3) Exit の経緯・内容

- ・ 投資後 9 年を経て Aguas Nuevas の事業は順調に進捗し、日本企業のグローバル水市場への進出支援や水事業の民営化ノウハウの取得、人材の蓄積等、当初想定した投資意義を達成したことから、INCJ として Exit 活動に着手。
- ・ 現地企業への株式売却を含めた検討を進めた結果、最終的に共同投資家である丸紅とみずほリースの合併会社であるエムジーリース株式会社に、INCJ が保有するアイ・エヌ・シー・ジェイ水 1 号株式会社およびアイ・エヌ・シー・ジェイ水 2 号株式会社の全株式を売却することとなった。

4. 主務大臣（経済産業大臣）意見

意見なし

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新投資機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井
東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階
電 話 : 03-5218-7202